

事業所名		京南子子ども総合支援センター（リバースクール・NEST）児童発達支援事業				支援プログラム		作成日		令和6年		10月		1日	
法人（事業所）理念		一人一人を大切にした療育をめざして													
支援方針		「地域での豊かな生活をめざして」 発達障害・肢体不自由・知的障害などの子どもたちが、家族や地域の人たちとともに、自己選択、自己決定をし、自尊心を持って自立した生活ができることをめざし、保護者と協同してその基礎を就学前に築きます。													
営業時間		9時		0分から		17時		30分まで		送迎実施の有無		なし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康な心と体の成長や基本的生活スキルを身につけるための方法を考え支援します。食事、睡眠、排泄、衣服の着脱、身の周りの支度など個々の発達段階や生活環境を把握し、日常生活に必要な力をTEACCHプログラムを取り入れ分かりやすく構造化した環境の中で身に付けられるよう支援します。 （食事・手洗い・歯磨き・靴の脱ぎ履き・片付け・排泄・衣服の着脱・スケジュール確認・手順書確認・散歩・運動遊び・リズム遊び・ふれあい遊びなど）													
	運動・感覚	・運動遊び、触遊び、手指遊び、ルールのある遊びなど様々な活動内容を用いて微細や粗大運動の両方を支援できる環境を整え、子ども達が自分の体を理解し適切に動かすことができるよう体の感覚の育ちを支援します。 （感覚統合遊び・ひも通し・プットイン・サーキット遊び・手押し車・三輪車・トランポリン・シーツ遊び・タオルブランコ・ボールプール・スクーターボード・触遊び（砂・粘土・小麦粉・絵具など）シールはり・体操・姿勢保持など）													
	認知・行動	感覚や認知の偏りなどの特性を把握し、視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して個々に合わせた支援方法や環境設定を行い、できたの喜びや「楽しい、またやってみよう」と意欲が持てる関わりを工夫します。また本人の困難さや生きづらさが軽減されスムーズに生活できるよう支援します。 （型はめ・マッチング・絵合わせ・ブロック・パズル・数の理解・物や色の名前・日付や天気の意味・指示理解・ルールのある遊び・まねっこあそびなど）													
	言語 コミュニケーション	・自分の思いを伝える、相手の意図を理解する、意思疎通ができる、伝わった喜びが感じられるよう言葉やジェスチャーやカードなど個々に応じた方法を考え支援します。また自己選択、自己決定ができる関わりを大切にします。 （あいさつ・「ちょうだい」「かして」「いや」「てつだって」など言葉での表現方法・言葉と一緒にジェスチャーの表現方法・指さしやジェスチャーやカードでの表現方法・シャボン玉・絵本や紙芝居・手遊びなど）													
	人間関係 社会性	・まずは安心して過ごせるよう、支援者との関わりの中で信頼関係を築き、個々の特性に配慮しながら友達への興味関心につなげます。またルールのある活動や当番活動などを通して自分の役割を持つことで、社会生活に必要な力が身につくよう支援します。 （集団遊び・スキンシップ遊び・親子での活動・順番や交代・ルールのある遊び・グループ間交流・こども園交流・担任や担当者以外の施設内の職員との交流・当番活動など）													
家族支援		・日々の療育場面の参加や面談などを持つ中で子どもの成長や支援方法など共有し、ご家庭での実生活に結びつくよう支援します。 ・子どもの特性理解や適切な関わり方が学べる学習会を実施します。						移行支援		・ライフステージの切り替えを見据えて、地域の生活の場との交流や情報共有の場を設け援助します。 ・移行先機関への支援内容、方法の伝達。					
地域支援・地域連携		・他の就学前施設や通所支援事業所などとの情報共有。 ・地域の連絡会などへの参加や他機関との連携。 ・支援者向け研修の実施。・保育所等訪問支援の実施。						職員の質の向上		・所内研の実施や外部各種研修への参加。 ・他機関への見学。 ・日々の療育内容の評価と反省の実施。					
主な行事等		リバースクール：入所式・修了式・運動会・発表会・子どもまつり・こども園交流・近隣散歩・避難訓練・季節の行事・菜園活動など NEST：避難訓練など													